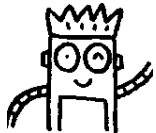


おおくぼとしみち

大久保利通は、どんな人だったの



明治時代初期に、新政府の中心人物として、**独裁**
的な**権力**をふるった政治家だよ。

大久保利通は1830年に、薩摩藩（鹿児島県）鹿児島城下の下級武士の家に生まれました。薩摩藩主島津 斉彬を西郷隆盛とともに助け、青年武士の中心となり活動しました。島津斉彬の死後は、島津久光（斉彬の異母弟）の側近になり、久光の公武合体・幕政改革の運動に加わって活躍しました。1864年に、幕府と薩摩藩の仲が悪くなると、幕府の政治を妨害する活動を行いました。

版籍奉還・廃藩置県をおし進めたが、条約改正には失敗した

1867年、岩倉具視と結んで、王政復古を実現し、新政府を発足させました。新政府では、いろいろな重要な職について、木戸孝允らと版籍奉還をおし進めました（1869年）。さらに、西郷隆盛を政府にむかえ入れて、廃藩置県を行わせました（1871年）。江戸幕府が結んだ不平等な条約を改正するため、岩倉具視を全権大使とする使節団をアメリカ・ヨーロッパに派遣し、自分も参加しましたが、失敗に終わりました。

西郷・板垣らを追い出し、独裁的な権力をふるった

1873年、征韓論に反対して、西郷隆盛・板垣退助・江藤新平らの追い出しに成功し（明治六年十月の政変）、国の行政機関の中心として内務省を設けて、その長官になりました。こうして独裁体制を固めた利通は、地租改正・殖産興業政策をおし進めたり、佐賀の乱・西南戦争をしずめたり、農民の不満をおさえるために地租を軽くしたりしました。また、台湾出兵の後始末のため、北京に行って、清国（中国）との仲直りに成功しました。しかし、西南戦争の翌年の1878年5月14日、東京で、石川県の不平士族らに暗殺されました。